

電気通信大学 平成16年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 露語演習 | | |
| 英文授業科目名 | Intermediate Russian | | |
| 開講年度 | 2004年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 3学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 斉藤 毅（学内連絡教官 三浦 清美） | | |
| 居室 | | | |

| | |
|----------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| ZVT03146@nifty.ne.jp | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>この授業は前年度の「露語第一・第二」の続編の授業です。今年度の月曜7限は、前学期は「露語演習」、後学期は「露語運用演習」となっていますが、実質的に、この2つはセットの授業と考えてください。これら「露語演習」、「露語運用演習」あわせて1年間で、前年度にもちいた教科書、『ロシア語文法への旅』を終わらせることを目標とします。</p> <p>この教科書を1冊マスターすれば、ロシア語の力はかなりついたと思ってよいでしょう。少人数の授業になる分、身につくのも早くなると思います。やる気のある人の受講を、ぜひ待っています。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 露語第一・第二 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|--|
| 【教科書等】 |
| <p>教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林）（1年次にもちいたもの）</p> <p>参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）</p> <p>（辞書については、授業時に詳しく話します）</p> |

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的に「露語第一・第二」と同じやり方で授業を進めますが、2年次は少人数になるので、受講者のみなさん一人一人が「発音する」、そして「書く」という作業を中心にします。

この「露語演習」(すなわち前学期)の授業では、教科書の第14課から始め、第20課まで進むことを目安とします。2年次からは「名詞の格変化」が主な文法事項になります。

また、たまにはロシアの映画を見たり、歌を聴いたりもします。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

- 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など) 50%
- 2) 学期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとこなしている
- 2) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 3) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。

とくに時間が必要な場合は、事前にメールにてご一報ください。

【学生へのメッセージ】

とにかく途中であきらめず、なんとか出席を続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には大切なことです。

【その他】